

各位

多用途透析装置「JMS個人用透析装置 SD-X01」販売開始のお知らせ ～血液透析療法の効率化と安全性向上を実現～

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：桂 龍司）は、多用途透析装置「JMS個人用透析装置 SD-X01」（以下「SD-X01」）の販売を開始しましたのでお知らせします。

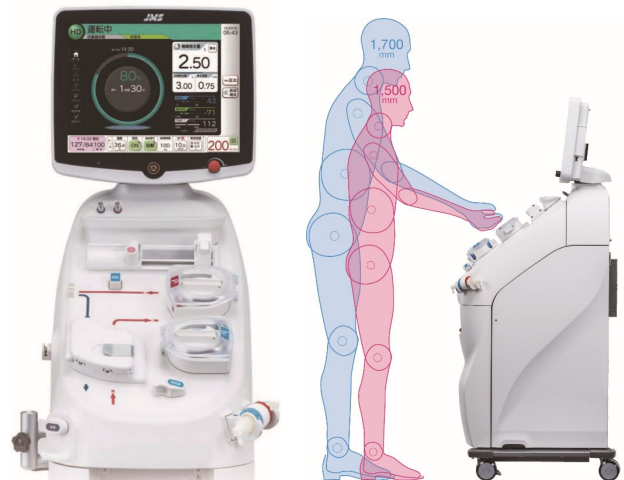
【開発の背景】

日本における末期腎不全患者数は約33万人とされ、その多くが血液透析療法を受けています。透析装置は、治療環境や施設の規模に応じて、多人数用透析装置と個人用透析装置が使い分けられています。多人数用透析装置は、透析液を集中管理し、複数の装置へ供給するセントラル方式（Central Dialysis fluid Delivery System: CDDS）を採用しています。一方、個人用透析装置は、独立した透析液供給が可能であり、医療機関の規模に応じて運用されるほか、感染管理が必要な場面や緊急時に使用されています。

「SD-X01」は、これまで培ってきた当社の多人数用透析装置の設計ノウハウを活かし、デザインコンセプトを継承することで、直感的な操作性と高い安全性を実現しました。

【「SD-X01」の特徴】

- 直感的な操作で血液透析業務の負担を軽減
 - 15型の大型タッチパネルを採用し、視認性と操作性を向上
 - 画面操作や血液回路のセットアップが簡単に行える人間工学に基づいたデザイン設計
- 安全で効率的な透析治療をサポート
 - 透析開始前の準備を自動化し、スムーズなセットアップを実現
 - 停電などの緊急時には、自動で透析治療を安全に終了する機能を搭載
 - 当社の透析情報システム「エルゴトライ」との連携により、治療データの管理を効率化
- より至適な血液透析療法を提供
 - 多様なHDF※療法に対応し、治療の選択肢を拡充
 - 患者さんのQOL（クオリティ・オブ・ライフ）向上に貢献



大型タッチパネルは、視認性が高く、表示と操作ゾーンを分けた直感的な操作をサポートするレイアウト

医療スタッフの声に基づいた人間工学設計により、広くフラットな回路取り付け面を実現

ジェイ・エム・エスは、今後も医療現場の目線に立った製品やサービスの開発、提供を通じて、安全安心かつ効率的な医療を支え、患者さんのQOL向上に貢献してまいります。

Press Release

※HDF(Hemodiafiltration):血液ろ過透析 HD(血液透析)とHF(血液ろ過)を組み合わせたもので、双方の長所を併せ持つ透析方法です。血液中の大分子量物質(低分子蛋白など)の老廃物を効率よく除去することができます。

【参考資料】

製品概要

一般的名称	多用途透析装置 個人用透析装置
販売名	JMS個人用透析装置 SD-X01
医療機器承認番号	30600BZX00006000
製造販売業者	株式会社ジェイ・エム・エス



お問い合わせ先 株式会社ジェイ・エム・エス (電話) 082-243-9059
経営戦略室 経営企画グループ (e-mail) pub-bpd@jms.cc

本リリースに掲載されている将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、社会情勢の大きな変化などさまざまな潜在的リスクや不確実性が含まれております。当情報につきましては発行日時点のものであり、将来的に変更される可能性のあることをご承知おき下さい。

また、医療機器や医薬品の情報が含まれていますが、これらは報道関係者、株主・投資家等の皆様を対象にした情報であり、顧客誘引や医学的アドバイスを目的とするものではありません。